



## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年度～平成24年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おがわち 小川内 （佐賀県）	事業実施主体	九州森林管理局 佐賀森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、佐賀県北部の小川内地区に位置し、福岡市博多湾に注ぐ那珂川上流部右岸の支渓で、那珂川の水源地域の一部である。  地形は急峻で、地質は中生代の花崗岩類等からなっている。  平成21年7月の中国・九州北部豪雨災害により地区内で発生した崩壊地から流出した土砂が土石流となり、渓床内に多量に流出し堆積している。  このまま放置すれば今後の降雨等により、渓床内に堆積した不安定土砂が下流域の保全対象へ流出するおそれがあることから、渓間工を施工し山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して、渓流域の安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 渓間工 4基  ・主な保全対象（治山事業） 人家、県道  ・総事業費 85,890（千円）</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	171,182（千円）	
	総費用（C）	81,074（千円）	
	分析結果（B/C）	2.11	
評価結果	<p>・必要性： 山腹崩壊地や渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば土砂流出や崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</p> <p>・有効性： 当事業の実施により、渓岸の縦横浸食の防止、渓床に堆積する土砂の安定により、下流域への土砂流出防止が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</p> <p>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果が期待できることから効率性は認められる。</p>		









## 事前評価個表

事業名	保安林改良	事業計画期間	平成23年度～平成24年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<sup>あれ</sup> 阿連 （長崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 長崎森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、長崎県の対馬市美津島町に位置し、対馬流域、対馬支流域である。</p> <p>計画地は、集中豪雨等による山腹崩壊の発生や、林分の過密化等により表土が流出する等、水土保持機能が低下しており、今後の降雨等により山腹崩壊や流木等の流出を発生させるおそれがあることから、本数調整伐を行い適切な林分密度とし、下層植生の回復等により水土保持機能向上を図るものである。</p> <p>・ 主な事業内容 本数調整伐 21.5ha</p> <p>・ 主な保全対象（治山事業） 市道</p> <p>・ 総事業費 4,300（千円）</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	37,460（千円）	
	総 費 用（C）	4,061（千円）	
	分析結果（B/C）	9.23	
評価結果	<p>・ 必要性： 過密化した林分、表土流出状況等森林の荒廃状況から、放置すれば山腹崩壊や流木の発生等が懸念されることから水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</p> <p>・ 有効性： 当事業の実施により、適切な林分密度となり下層植生の回復等が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</p> <p>・ 効率性： 事業の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な作業方法等で計画されており、費用以上の効果が期待できることから効率性は認められる。</p>		







## 事前評価個表

事業名	保安林改良	事業計画期間	平成23年度～平成24年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>かきかけ</small> 鍵掛 （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本南部 森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、熊本県南部の球磨郡水上村に位置し、球磨川上流流域、球磨川上流支流流域である。</p> <p>計画地は、集中豪雨等による山腹崩壊の発生や、林分の過密化等により表土が流出する等、水土保持機能が低下しており、今後の降雨等により山腹崩壊や流木等の流出を発生させるおそれがあることから、本数調整伐を行い適切な林分密度とし、下層植生の回復等により水土保持機能向上を図るものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 本数調整伐 63ha</li> <li>・ 主な保全対象（治山事業） 林道</li> <li>・ 総事業費 12,500（千円）</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	81,849（千円）	
	総 費 用（C）	11,797（千円）	
	分析結果（B/C）	6.94	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 過密化した林分、表土流出状況等森林の荒廃状況から、放置すれば山腹崩壊や流木の発生等が懸念されることから水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 当事業の実施により、適切な林分密度となり下層植生の回復等が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 事業の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な作業方法等で計画されており、費用以上の効果が期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年度～平成24年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>ほらいし</small> 原石 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県小林市須木東部で七熊山から軍谷峠、輝峰峠を経て大森岳に至る山地に囲まれた流域である。  地形は、全体的に急峻な山岳地帯を示すが、綾南ダムから上流では緩やかな傾斜を示している。  地質は、全体的に中生代後期の四万十層群からなり、ダム上流の一部分に、わずかに溶結凝灰岩などの火山堆積物が分布している。  本流域では県道沿いの山地が荒廃すれば通行止めとなり、住民の生活に直接的に支障を及ぼすことが考えられる。  平成17年の台風14号以降度重なる集中豪雨により、溪流内には多量の不安定土砂が流出し堆積しており、このまま放置すれば今後の降雨等により溪流内に堆積した不安定土砂が下流域の保全対象へ流下するおそれがあることから、渓間工を施工し山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して、渓流域の安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 渓間工 2基  ・主な保全対象（治山事業） 県道  ・総事業費 25,000（千円）</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	125,268（千円）	
	総費用（C）	23,558（千円）	
	分析結果（B/C）	5.32	
評価結果	<p>・必要性： 山腹崩壊地や溪床に堆積する不安定土砂及び、森林の荒廃状況から、放置すれば土砂流出や崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</p> <p>・有効性： 当事業の実施により、溪岸の縦横浸食の防止、溪床に堆積する土砂の安定により、下流域への土砂流出防止が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</p> <p>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果が期待できることから効率性は認められる。</p>		





## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年度～平成26年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>くろにた</small> 黒仁田 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎南部 森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県南部の串間市本城地区に位置し、志布志湾に注ぐ本城川の上流黒仁田川の上流域である。 地質は古第三期の日南層群に属し粘板岩・頁岩等からなっている。 平成22年10月の集中豪雨により、山腹崩壊が発生し、溪床内に多量の不安定土砂が流出し堆積している。 このまま放置すれば今後の降雨等により崩壊地が拡大し溪床内に堆積した不安定土砂が下流域の保全対象へ流下するおそれがあることから、溪間工を施工し不安定土砂の流出を防止して山脚を固定し渓流域の安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 3基 ・主な保全対象（治山事業） 人家、市道 ・総事業費 54,830（千円）</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	224,363（千円）	
	総費用（C）	50,658（千円）	
	分析結果（B/C）	4.43	
評価結果	<p>・必要性： 山腹崩壊地や溪床に堆積する不安定土砂及び、森林の荒廃状況から、放置すれば土砂流出や崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</p> <p>・有効性： 当事業の実施により、溪岸の縦横浸食の防止、溪床に堆積する土砂の安定により、下流域への土砂流出防止が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</p> <p>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果が期待できることから効率性は認められる。</p>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成23年度～平成24年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>うとづか</small> 宇都塚 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 北薩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、鹿児島県西部の薩摩郡さつま町に位置し、川内川流域泊野川支流流域である。  地形は緩やかな中起伏斜面であるが溪流沿いは急峻な地形である。  地質は新第三期で花崗岩を基岩とし、表層は礫や玉石を多く混在した厚い堆積層からなっている。  平成18年7月の集中豪雨により山腹崩壊地が発生し、その後の度重なる降雨等により、溪床内に多量の不安定土砂が流出し堆積している。  このまま放置すれば今後の降雨等により崩壊地が拡大し溪床内に堆積した不安定土砂が下流域の保全対象へ流下するおそれがあることから、溪間工を施工し不安定土砂流出の防止及び山脚を固定し、流域の安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 2基  ・主な保全対象（治山事業） 人家、県道  ・総事業費 48,800（千円）</p>		
費用対効果分析	<p>総 便 益（B） 286,449（千円）  総 費 用（C） 46,191（千円）  分析結果（B/C） 6.20</p>		
評価結果	<p>・必要性： 山腹崩壊地や溪床に堆積する不安定土砂及び、森林の荒廃状況から、放置すれば土砂流出や崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</p> <p>・有効性： 当事業の実施により、溪岸の縦横浸食の防止、溪床に堆積する土砂の安定により、下流域への土砂流出防止が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</p> <p>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果が期待できることから効率性は認められる。</p>		

